

についてご教示頂いた。ここに厚くお礼申し上げる。

○参考・引用文献

- 川添和英 2019. 本州中部に定着した外来種タイワンタケクマバチの遺伝子解析に基づく原産地の推定. なごやの生物多様性, 6: 29-31.
- 神戸市 2015. 神戸市動植物確認種リスト. 神戸市環境局環境保全部自然環境共生課. (http://www.city.kobe.lg.jp/life/recycle/biodiversity/rd/img/all_list.pdf).
- 間野隆裕 2012. タイワンタケクマバチ. 愛知県移入種データブック検討会 (編), 愛知県の移入動植物—ブルーデータブックあいち 2012: p.111. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.
- 松本吏樹郎・西本大作 2020. 大阪府のタケクマバチ. Nature Study, 66(8): 2-3.
- 柴田剛 2020. 小野市と明石市でタイワンタケクマバチを確認. きべりはむし, 43(2): 55.
- 多々内修・村尾竜起 2014. 日本産ハナバチ図鑑. 479pp. 文一総合出版.
- 上森教慈 2018. 兵庫県尼崎市でタイワンタケクマバチを採集. きべりはむし, 41(1): 31.
- 矢田直樹 2007. 愛知県と岐阜県におけるタイワンクマバチの採集記録. 月刊むし, (439): 39-40.

(Hiroshi YOSHIDA 神戸市東灘区)

サトクダマキモドキの雌雄型と思われる奇形個体の採集記録

池田大

サトクダマキモドキ *Holochlora japonica* Brunner von Wattenwyl, 1878 の雌雄型 (雌雄モザイク) と思われる奇形個体を採集しているので報告しておく。

1ex., 兵庫県三田市福島 有馬富士公園, 25. VIII. 2018, 筆者採集, 保管 (図1・2)

当時, 三田市有馬富士自然学習センター (キッピー山のラボ) で勤務していた筆者は, 園内で生き物を観察しながら通勤していた。その道中, 翅の不自然なサトクダマキモドキを発見し, 違和感を覚えたため手に取って確認したところ奇形個体であると判明した次第である。

本個体は全体にメスの特徴が強く表れるが, 尾端部周辺において左右非対称となっている。左の尾肢は太く先端部が滑らかなメスの特徴であるのに対し, 右の尾肢は先端部が黒く尖るオスの特徴を有している。また左側の尾端部は一部奇形となっているがメスの産卵管と思し



図1 全形.

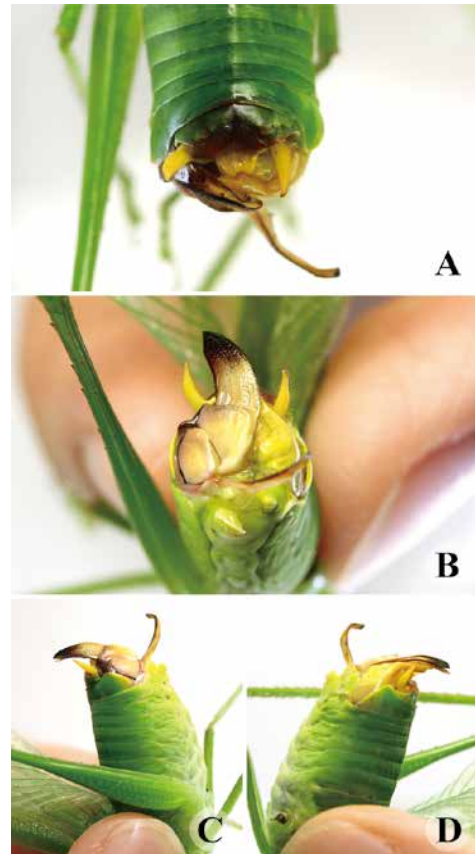


図2 尾端部 (A. 背面; B. 腹面; C. 左側面; D. 右側面).

き構造をしている。一方, 右側の尾端部はメスの産卵管に類似する形態をしているが, 通常とは異なる構造をしており, むしろ色はオスの尾端部突起で見られる色に近い。生殖下板については通常の状態をしておらず, 雌雄どちらの特徴も表れていない。なお, 腹部を解剖したところ卵が確認されたが, いびつな形をしていた。

以上より, 本個体はモザイク状に雌雄の形態が表れる雌雄型ではないかと推定されるが, メスの奇形個体である可能性も捨てきれないため, 本報告では断定を控えさせていただく。

(Hiroshi IKEDA 橿原市昆虫館)